

ServiceNow
Citizen Developer Process Creator
マイクロ資格
試験仕様書

はじめに

この ServiceNow Citizen Developer Process Creator マイクロ資格試験の仕様書では、試験の目的、対象者、テストオプション、試験内容と範囲、試験の枠組みに加えて、Citizen Developer Process Creator として認定されるために必要な前提条件を定めています。

試験の目的

Citizen Developer Process Creator マイクロ資格試験の合格者は、Playbook と Process Automation Designer を使用してプロセスを作成するために必要なスキルと必須の知識を備えていることが認定されます。

試験対象者

Citizen Developer Process Creator マイクロ資格試験は、ServiceNow の顧客、パートナー、および従業員が利用できます。試験の対象者には、今後の作業を計画し、デジタルトランスフォーメーションに関するビジョンをより早く実現する準備ができているビジネスプロセスアナリスト、ビジネスプロセスリード、プロダクトオーナー、およびプロセスオーナーが含まれます。

試験準備

試験の問題は、公式の ServiceNow トレーニング教材、ServiceNow ドキュメントサイト、ServiceNow 開発者サイトに基づいています。オンラインで公開されているその他の学習教材は公式ではなく、試験準備用としては推奨されません。

ServiceNow トレーニングパスの前提条件

Citizen Developer Process Creator マイクロ資格試験の準備として、以下の前提トレーニングコースを完了する必要があります。以下の ServiceNow トレーニングコースで提供される情報には、試験のソース資料が含まれています。

- [ServiceNow Fundamentals](#) (すべての形式)
- [Introduction to Playbooks and Process Automation Designer](#)

推奨される知識および教育

試験の準備として、以下のトレーニングコースの完了と認定の取得を推奨します。

- [Get Started with ServiceNow Citizen Developer Training](#)

その他のリソース

上記に加えて、以下の追加リソースが試験準備に役立つ場合があります。

- [Developer Portal – Citizen Developer Learning Plan](#)
- [製品ドキュメント – 「Interact with Playbook \(Playbook の操作\)」](#)
- [製品ドキュメント – 「Set up a custom Playbook user experience \(カスタム Playbook ユーザーエクスペリエンスの設定\)」](#)
- [製品ドキュメント – 「Process Automation Designer」](#)
- [製品ドキュメント – 「Workspace \(ワークスペース\)」](#)

推奨されるその他の経験

- ServiceNow プロジェクトに参加した 6 カ月以上の経験
- Agent Workspace などの ServiceNow ワークスペースインターフェイスに関する一般的な知識
- 業界の用語、略語、頭文字語についての一般的な知識

試験範囲

次の表に、試験のトピックと割合を示します。

試験トピック	試験の割合 (%)
Playbook の機能	27%
Process Automation Designer の機能	27%
Process Automation Designer での開発	46%

試験の登録

各受験者は、[Now Learning](#) から試験の登録を行う必要があります。Now Learning から直接、監督なしの 60 分間の試験を受けることができます。

試験の構成

この試験は約 15 問の問題で構成されています。それぞれの問題に対して複数の解答候補が提示されます。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として最も正しいものを選択します。

複数の選択肢 (解答は 1 つ)

複数の選択肢がある問題では、4 つの解答候補が提示されます。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として最も正しいものを選択します。

複数選択式問題 (該当するものをすべて選択)

複数の解答を選択する問題では、4 つ以上の解答候補が提示されます。解答をいくつ選択すればよいかは、問題に記載されています。受験者は解答の選択肢を確認して、問題の解答として正しいものをすべて選択します。複数選択式問題では、正しい解答が 2 つ以上あります。

試験結果

試験を完了して送信すると、すぐに合否結果が計算されて表示されます。受験者へのより詳しい結果の提供は行われません。

再受験

不合格だった場合、再試験に登録して計 3 回まで受験することができます。

例題

サンプルアイテム #1:

Process Automation Designer でアクティビティの作業中に、その入力変数の値が必要な場合、それらはどこにあるか？

- A. アクティビティの構成
- B. [詳細] タブ
- C. ステージヘッダー
- D. 親レコード

解答 : A